

ひがしそのぎ



平成22年
5月
平成22年5月14日発行
No.512

特集

- 消費者行政…………… ②～③
- 次世代育成支援後期行動計画…………… ④～⑤
- 消防団新入団員紹介…………… ⑩
- 子ども手当…………… ⑩

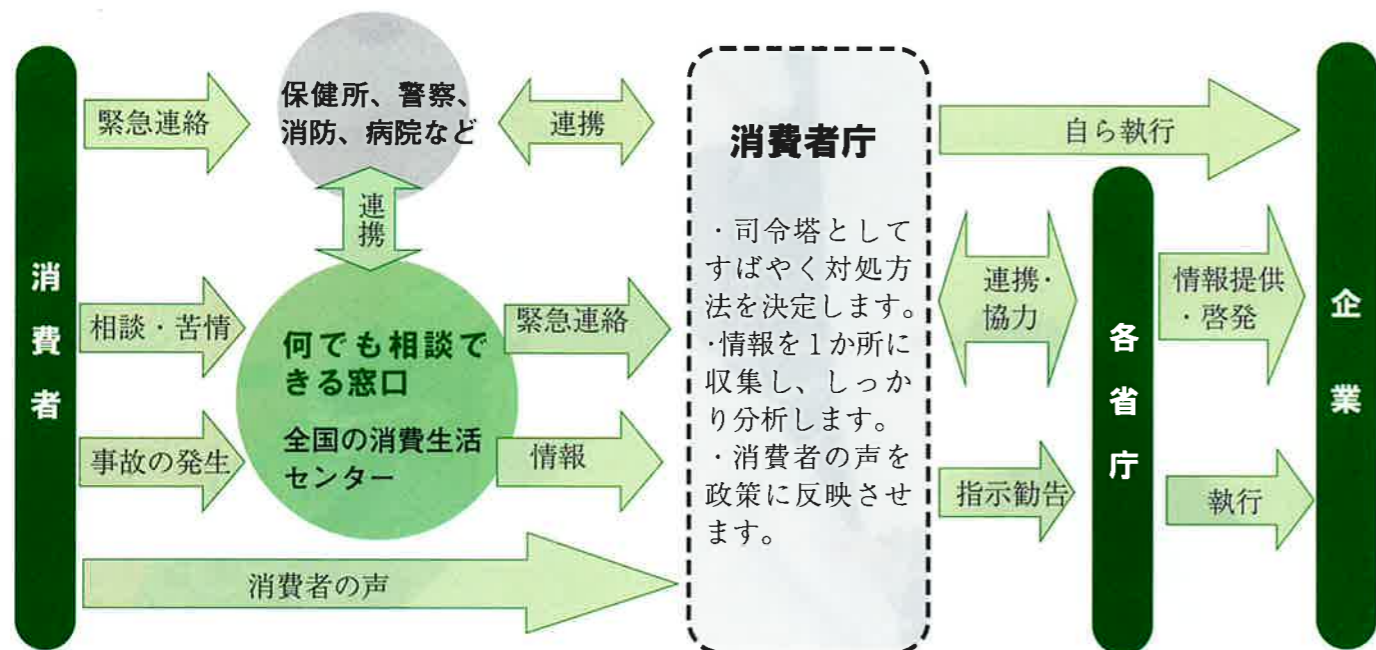
屋根よーり たーかーい こいのぼり

やすらぎの里公園付近の高速道路高架下で泳いでいる、約70匹のこいのぼり。
里子ども会と自治会が西日本高速道路㈱に協力していただき、毎年あげているものです。今年は『わくわくはうす』の子どもたちも応援に駆けつけ、一匹一匹を丁寧にロープに結び、高く高くあげました。

消費者庁が発足し、消費者行政が変わります。

安心・安全な社会をつくるため、消費者庁が設立されました。

新しい消費者行政のネットワーク（イメージ図）



5月は「消費者月間」です

トラブルはあなたの身近に迫っています
特に事故やトラブルに巻き込まれないよう注意を払いましょう。

ワンクリック詐欺を防ぐために！

- ・知らない相手から届いたメールは要注意、見ないで削除しましょう。
- ・メールで届いたアドレスに興味本位でアクセスしない。
- ・覚えのない請求は無視する。払わない。連絡しない。

ネットショッピングトラブルを防ぐために！

- ・通信販売はクーリングオフの対象外です。返品に関する記載内容を必ず確認する。
- ・インターネットの画面をコピーするなど契約内容を保管しておく。
- ・高額な買い物の場合は後払い、または代引きを利用するなど慎重に。

マルチ商法

「誰でも」「簡単に」というおいしい話はありません。怪しいと感じたらきっぱり断りましょう。

アポイントメント商法

「景品が当たった」「あなただけに特別」などの誘い、呼び出しには応じない。

キャッチセールス

人通りの多い路上で、「アンケートに答えるだけでいいから」という誘いに安易について行かない。

消費者行政が変わります。

消費生活に関する相談窓口は、全国の「消費生活センター」が担当します。

より身近になりました！

～困ったときは御相談ください～



INFORMATION

消費生活センターとは…

【主な事業内容】

消費生活センターは、地方公共団体が運営する「消費者のための相談業務を行う機関」です。悪質商法による被害や商品事故の苦情など消費生活に関する相談に応じるほか、消費生活の安定と向上を図るための各種業務を行っています。

消費生活相談	専門の消費生活相談員が消費生活に関する相談を受けつけ、問題解決のための助言やあっせんなどを行います。
消費者啓発	消費生活に役立つ情報を提供したり、くらしの知識を幅広く学ぶための講座などを開催したりしています。
商品テスト	相談のあった商品について、品質や性能、安全性などを調べ、確かな商品選びの指針となる情報を提供します。



困ったときは、お気軽に御相談ください

東彼杵町消費生活相談窓口 ☎ 46 - 1111 (内線 71) 消費者ホットライン ☎ 0570 - 064 - 370

守ろうよ、みんなを

東彼杵町次世代育成支援後期行動計画を策定しました。



▲町営バス大野原高原線に設置した大楠小学校下バス停留所

日本の子育て環境は近年大きく変化し、本格的な少子高齢社会の中にあります。合計特殊出生率(※)は平成17年に過去最低の1.26を記録し、近年若干の回復をみせたものの、人口維持に必要な水準である2.08には、大きく及ばない状況が続いています。少子化の背景としてさまざまな要因が考えられますが、経済的負担のほか、仕事と子育ての両立の難しさ、育児不安の増大などが指摘されています。また、子どもを取り巻く状況も、社会性や自主性を育む機会の減少、忍耐力や体力の低下、犯罪の低年齢化など、近年さまざまな問題がみられるようになっています。

東彼杵町次世代育成支援行動後期計画とは…

平成15年に制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づく市町村行動計画にあたるもので、平成17年策定の「東彼杵町次世代育成支援行動計画」の後期計画です。

子どもや子育て家庭を主な対象とし、町が今後進める子育て支援施策の方向性や目標を総合的に定めています。

基本理念

子どもは、輝く未来と無限の可能性を持つ、かけがえない地域の宝です。東彼杵町においても、子どもたちを地域全体で見守り、健やかに育てていくことが大切になります。

東彼杵町は、交通の拠点として優れた位置にあり、自然条件にも恵まれた町ですが、若者の流出や高齢化の進行など、さまざまな課題を抱えています。

このため、地域の特性・資源を活かしながら、子どもが心豊かにすくすくと育ち、のびのびと子育てができ、子育てを楽しむことのできるまちづくりに取り組みます。さらに、これらの環境づくりにより、いつまでも住み続けたいと思える町をめざします。

これらの考え方を踏まえ、東彼杵町においては、前期計画に引き続き次の基本理念を掲げ、本計画の総合的な推進に取り組みます。

※合計特殊出生率とは一人の女性が一生の間に何人の子どもを産むかを示すものです。15歳から49歳までの年齢別出生率を合計した数値で、この数値が2.08を下回ると人口の減少につながるとされています。

～すくすく のびのび 子育てを楽しむ 住みよいまち ひがしそのぎ～

本計画では、以下の6つの基本目標を設定します。今後、これらの目標に沿ったさまざまな子育て支援施策を総合的に推進していきます。

基本目標1 地域における子育て支援

すべての家庭で安心して子どもを育てることができるよう、町の特性を活かした子育て支援に取り組みます。地域におけるさまざまな保育サービスや子育て支援サービス等の推進とともに、これらの適切な利用に向けた情報提供・相談体制の充実を図ります。

また、子育てに伴う経済的負担を軽減するため、保育料や医療費等の経済的支援に取り組みます。

基本目標2 子どもを健やかに産み育てる環境づくり

母子の健康づくりに関する相談や健診の充実に加え、小児医療体制の確保、思春期保健対策(性、喫煙・飲酒、薬物など)の充実により、安心して子どもを産み育てる環境づくりに取り組みます。

また、食を通じて豊かな心身の育成を図るため、発達段階に応じた食育を推進します。

基本目標3 教育環境の整備

未来の社会を支える子どもたちが、さまざまな体験や経験を通じて学ぶ機会の充実を図り、豊かな心と体の育成を図ります。

また、学校のみならず、家庭や地域を含めた教育環境の整備を推進します。

基本目標4 仕事と子育ての両立支援

仕事と家庭のバランスがとれた働き方(ワーク・ライフ・バランス)を実現するため、男女共同参画の推進とともに、多様化する就労形態に応じて、再就職支援や育児休業制度等の普及・啓発に努めます。

基本目標5 安心して子育てできる環境づくり

子育て家庭に配慮した生活環境や設備など、安心して外出できる環境づくりを計画的に進めるとともに、交通安全教育や防犯対策など、地域ぐるみで子どもの安全確保に努めます。

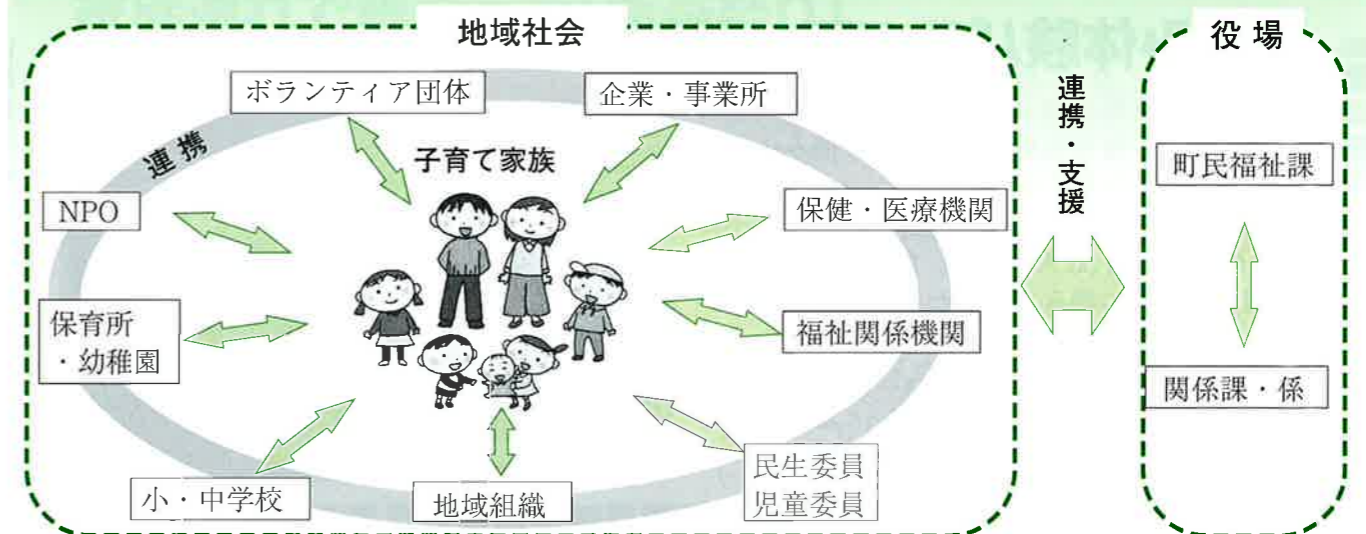
基本目標6 要保護児童へのきめ細かな支援

保護者の子育てに関するストレスに伴う児童虐待、ひとり親家庭の増加に対して、子どもの健やかな成長に向けた総合的な支援に取り組みます。

また、障害(発達障害等も含む)のある子どもについて、早い時期からの適切な療育のほか、相談体制・各種サービスの充実を図ります。

本計画を推進していくためには、行政(町)の取り組みだけでなく、地域や関係機関・団体との協働が不可欠です。このため、町の子育て支援に関して、町民皆様の理解と協力が得られるよう、情報や課題を共有しながら効果があらわれるよう計画の実効性を高めていきます。

<地域や関係機関との協働イメージ>





祝 100歳

西野春一さん(金谷)

4月13日にめでたく100歳になられた、西野春一さん(明治43年生まれ)
 8人の子どもに恵まれ、ご飯をきちんと食べることが長生きのヒケツとのこと。
 奥さんのツ子さんも94歳で、夫婦での目標は、2人で200歳を目指すとのこと。
 100歳になってもまだまだ元気な西野さん。これからも夫婦仲良くお元気で。



安全運転をお願いします



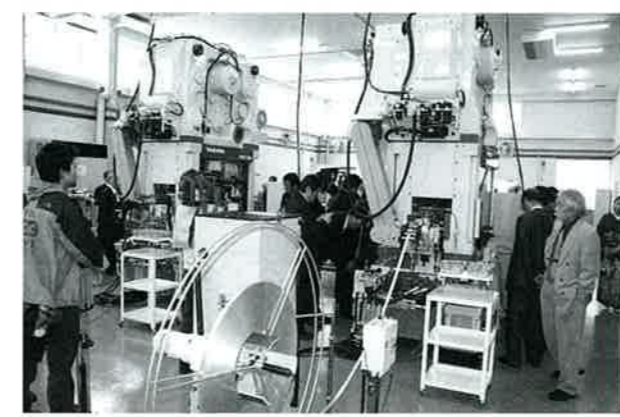
川棚地区交通安全協会主催の街頭キャンペーンが4月7日、国道34号線沿い鈴木病院下で行われました。
 当日は、川棚警察署・交通安全母の会・交通指導員らが参加し、運転中のドライバーにチラシなどを手渡し、交通安全を呼びかけました。
 交通事故は7時～9時と17時～19時までの時間帯での発生件数が多くなっています。車に乗るときは、ゆとりを持った運転を心掛けましょう。

茶摘み体験バスツアー開催

そのぎ茶を広く知ってもらおうと、そのぎ茶振興協議会が毎年実施している『茶摘み体験バスツアー』も今年で9年目。
 5月4日赤木集茶園で開催されたツアーには、町外から約50人が参加。参加者たちは、お茶娘から新芽の摘み方を教わり、ひと芽ひと芽丁寧に摘み取りました。
 摘み取った新芽は、てんぷらにして食べたり、自分で炒ってお茶として飲みたいと参加者たちは話してくださいました。



大垣精工(株) 竣工式



県工業団地進出企業9社目となる大垣精工(株)の竣工式が、4月23日行われました。
 竣工式には、町内外から約150人が出席し、作業工程などの説明を受けました。
 同社は岐阜県に本社を置き、各種電機・電子機器用の金型製造や表超精密部品加工などを手がける企業です。
 最終的な従業員数は45人程度を目指しており、町内からの雇用も期待されています。
 また、今回の大垣精工(株)の進出で東そのぎグリーンテクノパークは完売しました。

町食生活改善推進協議会 総会・研修会

「東彼杵町食生活改善推進協議会」総会・研修会が4月10日、開催されました。
 平成2年に発足し、今年で20年目を迎える同協議会は、地区で生活習慣病予防の食生活を勧めたり、男性料理教室や親子料理教室を行うなど町民の健康づくりをすすめる活動を行っています。
 また同日開催された研修会では『食育からはじめる暮らし力向上』と題し、口之津小学校の福田泰三先生の講演を聞き、食育の大切さについて認識を深めました。



家族連れで賑わった「新茶祭り」



「新茶祭り」が5月4日・5日、やすらぎの里公園で行われ、大勢の家族連れや子どもたちで賑わいました。
 会場では、釜炒り茶の実演やゲーム大会など多彩なイベントが行われ、盛り上がりを見せました。
 メインの『ウナギのつかみ取り大会』では、川に放たれたウナギを捕まえようと、腕まくりをしてがんばる子どもたち。ウナギを捕まえた子どもも逃してしまった子どもも、自然にふれあう有意義な時間を過ごせました。